

3. 内容を体系的なものに改善

(1) 道徳科の内容 四つの視点



四つの視点は、自分自身のことから、徐々に広がっていくイメージで設定されています。

A 主として自分自身に関すること

B 主として人との関わりに関すること

C 主として集団や社会との関わりに関すること

D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

(2) 道徳科の内容項目数と内容を表すキーワード

【内容項目数】

	旧項目数	新項目数
小学校第1学年及び第2学年	16項目	19項目
小学校第3学年及び第4学年	18項目	20項目
小学校第5学年及び第6学年	22項目	22項目
中学校	24項目	22項目

体系的



24の内容項目のうち、一部統合されたり、分化されたりして、生徒の発達的特質に応じた22の内容項目にまとめられました。

小学校から中学校までの内容項目が系統的・体系的に示され、指導内容が明確になるように、内容を端的に表す言葉(キーワード)が示されています。

A 主として自分自身に関すること

[自主, 自律, 自由と責任][節度, 節制][向上心, 個性の伸長] 等
それぞれの内容に関連性をもたせ、発展性を考慮した指導が重要です。



あれっ?道徳科は年間35時間なのに、35項目ないけど、どうして?

学校では、重点指導項目が設定してあります。目指す生徒像を実現するために、その重点指導項目について、2回・3回と授業をして必要な力をしっかりと育成します。

